



冬来たらば春遠からじ

～ 厳しい冬が来たら、暖かい春はもうすぐだよ～

"If winter come,
Can spring be
far behind?"

19世紀、イギリスのロマン派詩人シェリーが「西風に寄せる歌」の一節です。

中学3年生...もうやっています。みんなが受験生はんだってことくらい.....

でも、北中生徒として過ごした時間も同じくらい大切で、貴重なものなんだということを、忘れ
てはいけないです。季節は必ず秋から冬へと移りゆきます。今年はどういう冬になる
のかわかりません。

今は辛くて厳しい。だけど辛抱して耐え抜けば必ず春は来ます。だから、くさくさ入った水筒に頑張っ
ていこう。シェリーの言葉には、そんな希望に向かう姿が想像できます。受験をひかえる3年生にどうにも伝えたい言葉です。
冬の厳しさと同様に、これから3月まで毎日が続く勉強、苦しいぶんだけ返ってくるものも大きいです。未来は必ずきりひ
らくはります。この冬、3年生のみんなの表情が厳しくも力強さに満ちあふれていくことを期待しています。

受験は団体戦

＝ 随分昔の話になりそうですが、私が担任していた生徒の話です。

その生徒は毎日毎日塾で夜遅くまで頑張る。家に帰ってからも深夜遅くまで勉強していた子でした。寝不足で学校に来る日が増え、眠さと疲労がたまってきた。とうとう授業に集中できない状態に
なっていました。学校に来ても一日のほとんどが保健室のベッドの中でした。やがて保護者から相談(報告)が入り、その子
は自分の受験が終わるまでの期間、学校を休むことになりました。学校を休んでいる間も塾と深夜勉強をくり返して
ばかり頑張っていました。残念ながらこの子の受験結果は「×」でした。

このことは担任の私にとっても辛い出来事でした。クラスのみんなと一緒に受験に向き合えなかったその子の手を離して
しまったという自責の念が残りました。私の大失敗でした。今でもその子に申しわけない気持ちでいっぱいです。こんな苦
い経験があるからこその伝えたいこと...それが「**受験は団体戦**」という言葉です。

＝ 最近では取り組む学校も減ってきましたが、昔はよく3年生を対象とした進路学習の中で、「卒業生の話と聞く会」
がありました。自分が通う高校の特色をPRしたり、独自の勉強方法を紹介してくれたりと、その中でも
特に印象に残っている話は、その先輩たちが、中学3年生の時の学年の雰囲気や教室の様子、友達との関わりに
ついて話してくれたことです。これからの3年生のみんなの生活においてヒントになるかな...と思ったので、今回は、ほ
んの少しだけご紹介したいと思います。

・私が通っている高校の友だちは、そのほとんどが「3月の後期選抜」で合格した人だ。その友だちと中3の時(受験時期)の話をして
いたら、多くの友だちが「早く受験が終わった人(専願や前期選抜の合格者)がうるさくて勉強に集中できずに困った」と
言っていた。私の時はそんなことはなくて、最後までみんなと受験を乗り越えていった。

・先に合格を決めた私の友だちが、私の受験勉強に付き合ってくれた。朝早く一緒に学校に行って、教室で学びあった。本当
に嬉しかった。

・休み時間、昼休み、放課後、とにかく時間を大切に使った。周りもどんどん勉強しやすい環境になっていった。空気が変わっ
た。周りのことを考えて行動する人がどんどん増えていった。

・私のクラスの友だちは、受験合格した人から朝の教室掃除とか、放課後の机並べとかを毎日やってくれた。見えないところで支
えてくれているなかまの存在が嬉しかった。

・進路公開の時に、「返しの手紙」をクラスの全員からもらった。その冊子を受験当日お守りとし
て握りしめて受験会場へ向かった。「自分一人じゃない！」って思ったら勇気がわいた。

◆進路公開は、「今の自分が描く進路をみんなに話して応援してもらうこと」。お互いが
支えあわなきゃ。一人で受験するって考えただけですごく不安になる。今まで何度もなかまと衝
突してきた。そしてそのたびに向き合うこともできた。残りの時間もなかまと乗り越える！
受験を「一人で受ける」って考えたら寂しい。でも、みんなと一緒になら大丈夫。乗り越えられる。
そう思うことが「**受験は団体戦**」ってことなんだと思う。



◆の言葉は、先輩の話と聞いたおとこの私のクラスの子も綴った感想です。進路公開のことについては、これら
ら学年を取り組むことになるでしょう。さあ!!これから先みんなが頑張るべきことは何でしょうか?

その答えをさばりに行きます!! いよいよ11月突入です!!